



甲南第一小学校だより

第一っ子



令和5年1月10日

(2022年度)

第9号

甲南第一小学校

これまでの努力が成果となる 2023 年に!

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。昨年も保護者や地域の皆様、関係方々には多大なご支援とご協力いただきましたことに改めましてお礼申しあげます。本年もコロナ禍でのスタートとなりましたが、これまでと同様、感染防止対策に努めながら確実に教育活動を前に進めていきたいと思っております。

本日より後期後半がスタートしました。子どもたちはいつものように元気に登校してきてくれました。寒さ厳しい中、子どもたちから返ってくる「おはようございます。」の声で心を温かにしてくれました。残り3ヶ月、学年のゴールを目指してしっかりと頑張りたいと思っております。

さて、2023年の「干支」は「癸卯（みずのと）」です。よく「干支」と「十二支」が同じ意味でとらえられがちですが、実は意味がちがいます。そもそも「干支」とは、「十干」と「十二支」を組み合わせた言葉なのです。「十干」は甲乙丙・・・癸の総称で1から10までのものを数える言葉を表し、「十二支」は、子丑寅・・・亥の総称でその年を動物になぞらえたものを表しています。ということで、2023年は「癸卯」は、「十干」では癸（10番目）、「十二支」では卯（兎）の年ということになります。癸（10番目）という漢字は、物事の終わりと始まりや春が間近でつぼみが花開き直前という意味があるとされ、そして、卯（兎）という漢字は、春の訪れを感じる、冬の門が開き飛び出るといった意味があるとされています。つまり、2023年「癸卯」は、これまでの努力が花開き実り始める年ということ、縁起の良い年ということになります。

2022年も前年から続く感染拡大で、私たちの生活に大きな影響や変化をもたらした年となりましたが、ワクチン接種、治療薬の開発、行動制限の緩和等、コロナからの回復の兆しも少しずつ見え始めてきた年でもありました。2023年「癸卯」がその言葉の意味の通り、これまでの取組や努力が成果となり、生活の向上や未来への夢や希望につながっていく年になってほしいと願っています。

私たち教職員一同も、うれしさ楽しさのいっぱい詰まった、さやかなこともしっかり耳を傾け大切に、きらりと輝く第一っ子がいっぱい学校になっていくよう、2023年も力を尽くしていきたいと思っております。どうぞこれからも保護者や地域の皆様、地域の方々の変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

甲南第一小学校 校長 松山 辰也



みんなが「幸せ」になるために!

12月9日に「やさしさぬくもり集会」を開催しました。今年度も二部に分かれての実施となりましたが、子どもたちは、みんなが幸せになるためにどうしたらよいかを、発表のテーマや内容を考え、発表の仕方を工夫して、お家の人に分かりやすく発信することができました。1年生は、みんなが笑顔になる言葉を、2年生は、町で働いている人の思いを、3年生は、いろいろなちがいを認め合うことを、4年生では、人にやさしいまちづくりについて、5年生では、人に寄り添うということについて、6年生では、みんなが幸せになる情報利用について、しっかりと伝えることができました。この集会への取組を通して、子どもたちはまた一つの面で大きく成長することができました。



お話を絵にするコンクール 「学校賞」受賞!!

第52回京都新聞社主催「お話を絵にするコンクール」において、本校が「学校賞」を受賞しましたのでお知らせいたします。子どもたちの個性豊かで創造性に富んだ作品が評価され受賞となりました。

読んだお話の内容から自分の心に残った場面を絵に表していく中で、自分の一番描きたいこと（絵の中心）が、見た人にもよく伝わるように、子どもたち一人ひとりが自分なりに、画面構成、色の塗り方、表現技法、いろいろな描画材の使い方等を工夫して、一枚の絵に仕上げることができました。第一小の子どもたちが夢中になった姿が今も思い出されます。子どもたちにしかないその感覚や感性にはいつも感心させられます。



ひとみ輝く第一っ子 よく学び・心豊かに・健やかに